

全国から12,000人が結集した「さよなら自立支援法集会」でほっとニュースを売りました。



SSKS



「ほっとスペース八王子」ニュース

ほっと

目次

特集 2010年を迎えての新年のご挨拶	2頁
/ 寄せ書き / 新年の抱負 -pakcil・渡辺広海・山口咲子・村仲徹・朝野よ かいち・武田晴海・リネカー・大目聞像 /	
特集 2009年韓国研修ツアーレポート集	4頁
/ 安重根 (An Chung-gun) と伊藤博文 (渡辺広海) / 韓国の食文化 (ティクシー) / ハングル物語 (M・N) / 日本の朝鮮蔑視 (べっし) の歴史 (大目聞像) / 安重根 (アンジュンゴン) と伊藤博文について (pakcil) /	
特集 Mさん逮捕に思うこと	10頁
/ Mさんの逮捕をめぐる (井田有哉) / Mさんの逮捕について (さくら桃) / 獄中記 (1) ~初めての逮捕~ (村仲徹) /	
特集 2009年9月~12月の プログラム参加レポート	13頁
/ 9・14 多摩動物園日帰り旅行 (安兵衛) / 10・2 心の健康フェスティバル (朝野 よかいち) / 萌 (も) え寺 (了法寺) 訪問記 (朝野よかいち) / 医療観察法集 会と銀座マリオン前街宣活動に参加して (渡辺広海) / さよなら障害者自立支 援法! つくろう! 私たちの新法を! 10・30 全国大フォーラムに参加して /	
ワダックさん追悼	15頁
/ 堀部正 / ゴンスケ / さくら桃 / ワダックさん遺稿部文 (互いが互いを癒すとは 「自己表現のエンターテインメントを確立すること」だ) /	
患者の人権を守ろう・投稿・新会員自己紹介	17頁
/ 植松恵樹 / コタキチ / 瑠香 / 寅さん	
提言	19頁
/ 真の意味での世代交代が必要 (植松恵樹) / 編集後記	
「賛助会員からの寄稿」	20頁
/ 小久保浩 / 善りと蔑み (おごりとさげすみ)、 植民地支配と差別を美化する「坂の上の雲」放映を批判する	
現状と課題	23頁
/ 堀部正 / 解放運動の引継ぎ / 今後の予定 / 編集後記	

2010年新年号

130号

定価 100円

発	郵	E	F	電	編
行	便	ー	A		集
所	振	M	X	話	人
替	替	a			

八王子市八幡町一三二ふくしまやビル二階
「ほっとスペース八王子」(代表 古川 弘之)
〇四二一六二八一三一九
〇四二一六二〇一七八六
申し訳なきを。たぐいましませず。
CXBO1672@nifty.ne.jp
〇〇一八〇七六二四六「ほっとスペース八王子」
世田谷区砧六一二六一二二 障害者団体定期刊行物協会

2010年10月
 (5) 16mm 97
 10-2115子
 抱負

夢に浮く
 精神病者 (丸)

青春 同帰 NAO

絶対全房に広がる！
 来早の日の花能展つたりす
 海を今に白くす
 海を今に白くす
 海を今に白くす

(丸)

♪♪♪♪♪♪
♪♪♪♪♪♪
♪♪♪♪♪♪
♪♪♪♪♪♪

「おはようございます」
「おはようございます」
「おはようございます」

「おはようございます」
「おはようございます」
「おはようございます」

「おはようございます」
「おはようございます」
「おはようございます」

ほっと
2010年

来年は皆と仲良くします!!

蔭山

今年も元氣いっぱい
がんばります
山口咲子

横山

今年も頑張ります!!
♪♪♪♪♪♪
♪♪♪♪♪♪
♪♪♪♪♪♪

物田
秋山 健太郎

秋山 健太郎

秋山 健太郎

秋山 健太郎

新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年は政権交代により、民主・社民・国民新党の3党連立政権の下で、「自立支援法」の撤廃が宣言されました。今年はこのことが実行されるかどうかの試金石の年となると思います。そして私たちは当事者として今後の動きを見ながら、障害者が当たり前に生きていくことができる社会を実現していく一歩とすることが必要です。今年もごきげんよくお願い申し上げます(会員一同)

新年の抱負

pakcii
 昨年は、波乱の年でした。会員の逮捕、元会員の自殺未遂など様々な事件がありました。今年はずっと平和な「ほっと」の環境作りを目指したいと思います。



新年の抱負

渡辺広海
 今年はもっとお料理を覚えて、自宅でもたくさん自炊したい。村里先生に教わりたい。副代表、運営委員はやめるが、なにか手伝えることがあったら、ほっとのために頑張りたい。



新年の抱負

山口咲子
 今年は一年健康に気をつけて、風邪も引かず、タバコも控えるために頑張りたいと思います。今年もよろしくお願い申し上げます。



村中徹

私はほっとスペースに通って1年以上になります。働く場所が全くなくて困っています。いつかは自分の力で仕事を捜し就労したいと思っています。



新年の抱負

朝野よかいち
 皆様あけましておめでとうございます。今年はずっとの会員の潤滑油になりたいと思います。善良で助け合えるほっとで、皆がほっとする場になりたいです。



新年の抱負

武田晴海
 まず最初に来年は三食をきちっと時間を決めて取り必ず服薬をすること。次にはできるだけ毎日のようにほっとに通所すること。さらに本棚にしまっている本を読破したい、というのが気持ちですが、「言ひは易し



行は難し」で、はたして決意どおりにいかんまでの過去を振り返ると疑問です。恥ずかしながらと思っています。

新年の抱負

リネカー
 今年はもっとたくさん友人を作り仲良くしていきたいです。いろいろなプログラムにも積極的に参加して見聞を広めてゆきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。また、雨の日でも極力参加して、聞こえや様々なプログラムにも積極的に参加していきたいです。またいろんな方々とコミュニケーションを取ってゆきたいと思っていますので今年一年よろしくお願い致します。



新年の抱負

大目聞像
 今年こそ、病気を完全に治し、ほっとに行きながら、一般就労を目指したい。



《2009年韓国研修ツアー報告》

2009年11月6日より3泊4日の日程で韓国研修ツアーにいらしてきました。ソウル市内が中心でしたが、各自事前に決めた研修テーマに添って行動し、充実した時間を過ごすことができましたと思います。普段、家に引きこもりがちな私たちにとって、こうした体験は得がたいものであり、人生の貴重な財産となりました。また、日本と韓国との複雑な歴史・文化に触れて考えさせられることも多く、例年にも増して実りのある研修ツアーとなりました。(文責Y)

安重根 (An Chung-gun) と伊藤博文

渡辺 広海

●研修テーマ

☆安重根における伊藤博文暗殺☆

今年、伊藤博文暗殺から丁度100年。韓国の安重根記念館でもお祭りが開かれているであろう。それを現地ですっきり見てきたいと思えます。

◆安重根について

下の切手は縦22ミリ、横19ミリの大きさで、1982年以来、韓国で発行されている200ウォンの切手です。図柄

らもわかるように記切手ではなく、普通手です。図案の人は安重根(1879-1910)で、韓国朝鮮で民族運動の義



士として知られている人物です。彼は1894年に朝鮮で起こった甲午農民戦争では、父と一緒に政府側にたつて農民軍の鎮圧にあたる義兵として戦いました。1895年にはカトリックの洗礼を受けています。日露戦争を契機に日本は韓国に対して次第に圧迫を強めますが、1904年平壤にて安重根は愛国啓蒙運動に接して、日本の圧迫から韓国の権利を回復するための運動に積極的に関わっていきます。愛国啓蒙教育のために学校を設立したほか、1907年からは日本への武装闘争を行うための義兵を組織し、中国の北間島からロシアのウラジオストクに移りました。

◆伊藤博文について

か 1963年から1984年まで発行されていた千円札に使われていた肖像は伊藤博文(1841-1909)です。当時発行されていた紙幣に登場した人物は一万円札と五千円札が聖徳太子、五百円札が岩倉具視(1825-1883)でした。

や 1400年前の聖徳太子を除いて、伊藤博文と岩倉具視は幕末から明治時代に活躍した人物です。

岩倉具視は天皇制の基礎を固めると共に、大日本帝国憲法の基本構想を作った人物として知られている人物です。伊藤博文も初代の内閣総理大臣であり、大日本帝国憲法の起草に重要な役割を果たしました。伊藤を紙幣の肖像として登場させた理由としては、アジアで最初の立憲制度を確立させた彼の役割を評価したことがあるように考えられます。

◆日露戦争後の日本と韓国

日露戦争は満州(現在の中国東北部)と朝鮮半島をめぐる日本とロシアとの戦争でした。韓国も中国と局外中立を宣言しますが、日本もロシアも無視しました。戦争中の1904年に日本は韓国政府に日本政府の推薦する外交顧問(外国人)と財政顧問(日本人)を置くことを認めさせます(第一次日韓協約)。そしてポーツマス条約などを背景に1905年、第二次日韓協約を結ばせて、韓国の外交権を奪って保護国としました。そして、日本は保護権を行使するために漢城(現在のソウル)に統監府をおいて、初代の統監として伊藤博文が任命されたのです。

この第二次日韓協約に韓国は強く反発しました。

1907年、オランダのハーグで万国平和会議が開かれましたが、韓国皇帝の高宗は日本の圧力で調印された協約が不当であることを訴えるために、密かに使節を派遣しました。しかし、こうした努力は無に終わり、逆に日本は高宗にかえて純宗を即位させることも、行政権も奪つ第三次日韓協約を結ばせ、さらに軍隊も解散させました。軍隊の解散が日本への義兵による武装闘争を拡大させる大きな引き金になりました。武装闘争は朝鮮半島内から中国やロシアとの国境付近、あるいは中国、ロシアなどを拠点に行われるようになります。

統監である伊藤博文は韓国を保護国のみまで継続させようと考えていたようです。しかし、義兵闘争がいつこうに減る様子がないことから、日本政府内に伊藤の方針に反対する力が強まり、伊藤も併合の方向に路線を修正していきました。1909年6月伊藤は統監を辞任しましたが、翌月に政府は韓国併合の方針を決定しました。

◆安重根と伊藤博文

ウラジオストクを拠点とする義兵闘争に参加した安重根は大韓義軍参謀中将兼独立隊長として1908年以後朝鮮半島で日本軍との戦闘をたびたび指揮しています。統監を辞任して枢密院議長となった伊藤博文は1909年10月26日、日露交渉のために満州のハルピンを訪れましたが、彼が来ることを知った安重根は暗殺を決意して、列車で到着した伊藤博文を駅頭で射殺したのです。安重根はその場で逮捕され、関東都督府旅順地方法院で死刑

判決を受け、翌年3月処刑されました。旅順監獄で安重根が1910年2月(処刑される前月)に書いた「獨立」という遺墨を、看守の子孫が密かに保管してきました。2000年の夏になって、その遺墨が韓国で公開されました。こうした記事が日本の新聞やテレビで報じられました。

韓国や朝鮮では伊藤博文を暗殺した安重根は、抗日運動の英雄の1人とされて高く評価されています。このことから安重根を切手の肖像として採用したのだと思われます。抗日運動を高く評価する韓国の見方は、植民地支配を経験した歴史を背景にしています。日本国内の政治の近代化を推進した伊藤博文も、朝鮮半島の人々にとっては植民地支配を推進した中心人物の1人として記憶されているのです。植民地支配を行った側は、植民地支配というフィルターも通すことで、日本国内の業績だけではないところも含めた歴史の評価が必要であることを教えてください。(以下ネット上で調べました。)

韓国に実際に赴き、安重根記念館へ行きました。100周年のお祭りが開かれています。いきや、お花



獄中の安重根を再現した人形。

が飾ってあるだけで、ほかの観光客の姿もなく、閑散としていて、正直拍子抜けしました。お祭りに間に合わなかっただけなんです。ちょっと残念でした。記念館の隣に何か建物が建てられているようですが、安重根のまた新しい資料が展示されるのかも知れません。以下、100周年記念のお祭りについて書かれた記事を、ネットで見つけたので、その記事も資料として転載します。

伊藤博文暗殺から100年 中国ハルビンでの記念式典をめくり中韓で大きな温度差 (10月25日21時45分配信 産経新聞)

朝鮮半島出身の抗日運動家、安重根(アン・ジュングン)が中国黒竜江省のハルビン駅頭で、伊藤博文・初代韓国統監(元首相)を暗殺してから100年に当たる26日、ハルビン市朝鮮民族芸術館で中国在任の韓国人らによる記念式典が行われる。地元政府は中国国内の反日勢力を刺激することを警戒し、式典に関するメディアの報道を制限したという。近年、安重根を「世界的な英雄」として宣伝する韓国側に中国側は冷ややかに対応し、両国間の温度差が浮き彫りとなっている。

在中韓人団体関係者によると、韓国側は当初、式典をハルビン駅から約200メートル離れた中央大街広場公園で行うことを希望していたが、地元当局が難色を示したため断念した。

2006年1月にも、韓国人企業家らが同広場に高さ約4.5メートルの安重根の銅像を建てたが、

「外国人の銅像建設は許可しない」との理由で10日後、中国当局に撤去された経緯がある。

また、安重根が処刑された遼寧省大連市の旅順日露戦争陳列館（旧旅順刑務所）でも26日、韓国側の要望により安重根の特別展示が設けられる。しかし安重根の名前を出さず、「国際抗日烈士展示館」とあいまいな名称となった。同陳列館は産経新聞の取材に対し、「入館者には見学だけを許可し、追悼、記念活動は一切認めない」と説明。特別展示を安重根の宣伝につなげようとする韓国メディアへの警戒を隠さなかった。

近年、韓国側は中国に対し、安重根を「反植民地主義の世界的英雄」として記念するよう、さまざまな場で持ちかけているが、中国側は一貫して慎重な姿勢を崩していない。

その背景として、暗殺を抗日運動の手段に選ぶという過激な民族主義者を英雄視することは、中国国内の社会不安にもつながりかねないとの懸念があると指摘される。同時に、国内の反日団体が韓国の民族主義勢力と一緒に安重根を記念することを通じて影響力を拡大し、政府の外交政策への批判に発展することも警戒しているようだ。

中国では、歴史教科書や偉人事典で安重根を取り上げることはほとんどない。とはいえ、「日本の首相経験者の暗殺に成功した」として、中国の反日団体などの間で高い知名度を誇っている。「安重根義士崇慕会」ハルビン支部という名称の民間団体もあり、そのメンバーである漢族の男性企業家が今年8

月、ソウルの安重根記念館建設に3千万ウォン（約230万円）を寄付したことが韓国メディアに大きく取り上げられた。しかし、中国メディアはこれらのニュースを黙殺している。

以上、ネットで見つけた記事の転載です。いくら韓国の英雄と言っても、いろいろな温度差があるようですね。実際、韓国でもタクシーに乗って「安重根記念館へ」と言って一発で行けた試しがありません。みんな知らないんです。記念館もかなり狭いし。今は日本と韓国がよい関係だから、戦前を思い出させる安重根のような存在は、もしかしたら韓国の人々にとって、ちょっと疎いのかも知れません。とくに戦争を知らない若い方は。

韓国の食文化

ディクシー

●研修テーマ●

☆韓国における食文化について☆

似ているようで似ていない韓国と日本の食文化、旅行に行くとも誰もが感じる違和感。似たような食文化なのに、こんなにギャップを感じてしまうのは何故か？その秘密が実は日本と韓国の食器の中に隠されていると思うので、日本と韓国の食器のルーツをたどってみたいですよ。

韓国に行って食文化をみて、まず思った事は辛いというイメージだった。食べてみて、やっぱり辛

かった。でもジャージャー麺は甘味噌で食べやすかった。キムチもたくさん出てきて、やっぱり食べきれなかった。珍しかったのは沢ガニの塩辛でかりかりでお



食文化は実に「深いん」ですネ

いしかったが、しょっと塩辛すぎた。

キムチといえどもたくさん種類があって、ニラのキムチやナムルなどカクテキくらいいしかわからなかったのが恥ずかしい。キムチチゲも食べたが豆腐が良い味をだしていた。

これはごはんによく合っておいしかった。焼き肉は肉が柔らかくておいしかった。ごま油とコショウのタシにつけてサンチュにくるんで食べたのだけれど、良くあるタシじゃなかったの、それがまた新鮮で良かった。

最後の日にビビンバ（タコ）を食べたのだが、青唐辛子が効いていてとても辛かった。韓国の方がらは日本のものより、まろやかな辛さだと思っていたが、あまりにも辛くてびっくりした。韓国の食べ物には辛いと思っていたが、それはかりではなかった。

余談ですが、私がみんなとはぐれて困っていた時、韓国の人はみんな優しくかった。屋台のおばさんもメモを見て一生懸命説明してくれたし、片言の日本語でタクシーに乗せてくれた青年もいた。日本人も見習うべきだと思った。本当に行って良かったと思う。

ハングル物語

M・N

●研修テーマ● ☆ミハングル文字について☆

ハングルとは、主に朝鮮半島で使われている文字の名称です。朝鮮王朝時代の1443年に世宗大王(在位1418〜50年)達が創り出し、現在は「大いなる文字」という意味のハングルという名前で呼ばれ、1997年にはその製字原理の記録本がユネスコの世界記録遺産に登録されています。このハングルについて本場のソウルで研修してきましたと思います。

ラジオを聞いたたり、本を読んだり、現地で覚えたりした韓国語をレポートします。まず、インチョン空港に到着して、「アンニョンハシムニカ」↓「こんにちは」、「チャルプッタカムニダ」↓「よろしくお願います」、「コンビニ」↓「買い物して」、「イゴ」↓「セヨ」↓「これをください」、「カムサハムニダ」↓「ありがとうございます」。

食堂であさりのうどんを食べました。「マシッコ」↓「おいしいです」それから「モルジュセヨ」↓「水ください」

また、「コン

ビニで「ウ

ユイッソ

ヨ?」↓

「牛乳ありま

す?」「ウ

ピョイッソ

ヨ?」↓「切

手あります

か?」「ウピョ

オフソヨ」↓「切手はありません」、「ミ

アネヨ」↓「こめんなさい」、「ケンチャナヨ」↓「構

いません」

明太子を買いました。「オルマエヨ?」↓「いくら

ですか?」「6000?です」。

以上のような、簡単な会話を覚えました。もっとラ

ジオ講座などで、勉強をしたいと思います。



本場のハングルはやはり違った!

日本の朝鮮蔑視の歴史

大目聞象

●研修テーマ● ☆従軍慰安婦問題について☆

「ナヌムの家」を訪問して当事者の方を含め関係者の話を聞いてきたいと思えます。

私達は韓国でナヌムの家(日本軍慰安婦歴史館)に行ってきました。そこに行って感じた事、知った事、帰国後さらに補足して調べた事を発表したいと思えます。まず始めに日本の朝鮮蔑視の歴史で代表

的なのが従軍慰安婦問題であることに触れたいと思います。よく日本人はアメリカに原爆を落とされたことを絡めて白人種の有色人種への差別は声高に叫ぶが、

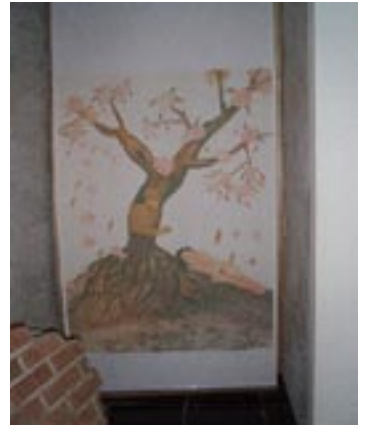


欧米からも見学者が訪れていました

翻って日本のアジアへの差別、特に朝鮮への差別には触れない、知らんぷりをする傾向がある。差別を野放しにしているのである。そして日本が朝鮮を自分より弱い相手だと見て差別しているからこそ、慰安婦隷狩りなどという非人道的でひどい事が平気でできるのである。本気で誠実に朝鮮の人に向き合っていないから、公式謝罪と国家賠償もしないのである。そして従軍慰安婦はなかったという言説も出てきてる始末である。

慰安婦の強制連行の証拠は、まず中央大学の吉見義明教授が慰安所の日本軍閥与を示す資料を国会図書館で発見している。さらに吉田清治という旧日本軍人が慰安婦隷狩りを告白した本を出している。また日本政府も韓国慰安婦証言のヒアリングを行い、当時の河野官房長官が慰安婦を認める談話を出している。なので慰安婦の証言は証拠に値しないと

か自分から好きで慰安婦になっただろうという右派の意見は、若い頃慰安婦にさ



ハルモ二たちが描いた絵のひとつです。

せられ、傷ついた人生を送ってきた80過ぎのハルモ二達をさらに傷つける意見だと思う。そしてそういう右派の意見に対して慰安婦だった黄錦周(フアン・クムジユ)ハルモ二は「証拠がない訳ないだろう。私がいるじゃないの!これ以上どんな証拠を出せというの!」とおっしゃっている。この言葉を私は重く受け止めなければならぬと思った。

安重根(アンジュングン)と伊藤博文
くしんぱく
pakcii

●研修テーマ●

☆安重根(アンジュングン)と伊藤博文(くしんぱく)☆

安重根(アンジュングン)と伊藤博文(くしんぱく)について、100年目の式典はどのようなのか調べてきたらと思っております。

●歴史の経過

1909年10月26日 統監(とうかん)を辞任して密院議長となった伊藤博文は、日露交渉のために満州のハルピンを訪れたそうです。韓国人安重根が公爵伊藤博文をハルピン駅頭(えきとう)で射殺しました。ピストルで6発発射のうち3発が命中しそうです。(いずれも致命傷)安重根は「大韓國万歳」と三回叫んで、即刻その場でロシア官憲(かんけん)に逮捕され日本官憲に引き渡された。伊藤は「犯人は韓国人」と聞いて、「バカなやつだ」と言ってから死亡したそうです。

同11月4日、伊藤博文は東京で国葬にされる。1910年 2月14日、安重根は旅(りょ)順(じゅん)の関東(かんとう)都督府(ととくふ)地方院(ちほういん)で死刑判決となりました。

同3月26日、午前十時安重根は旅順監獄で死刑・殉国(じゅんこく)(享年32歳)。

2009年10月26日、伊藤博文は暗殺されてから今年で100年がたちます。

●安重根がなぜ伊藤博文を暗殺したか

伊藤を暗殺した安重根は、その理由のひとつとして、明治維新政に至る日本の歴史における重大な事件を挙げていた。「明治天皇の父に当たる孝明天皇」を暗殺した人物が伊藤である、安重根はその殺害動機のひとつに挙げた。しかしながら、よく考え

てみるに、この動機は日本国内の政治的な事件であり、しかも朝鮮・韓国とに直接関連する理由ではないから、唐突である事件であるといえる。また、一説によると伊藤博文は朝鮮を侵略しようという魂胆があったんです。だから安重根は暗殺をしたんです。しかし日本では侵略の歴史を赤裸々に教えたら国の面子にもつながりますし、だから日本側は都合の良いように書き換えてるんでしょう。安重根が伊藤博文を暗殺しなかったら、朝鮮侵略はもっと早くに行われていたといわれています。だから安重根は英雄といわれているんです。

ソウルでの伊藤博文の暗殺後100年目の式典は見る事ができませんでした。安重根の祭壇に小さな花がかざっていましたが、その花にハンゲル文字なので読めませんでした。100年・・・と垂れ幕が掛かっていました。伊藤博文暗殺100年の意味だと思えます。

安重根記念館にいつてわかった事は、なぜ「安重根がなぜ伊藤博文を暗殺したか」ですが、事前レポートでは2つの説、一つは「明治天皇の



安重根の胸像。安重根記念館にて写す

父に当たる
孝明天皇」
を暗殺した
人物が伊藤
である」と、
安重根はそ
の殺害動機
のひとつに
挙げたこと。
もう一つは
伊藤博文は
朝鮮を侵略
しようとい



記念館の内部。安重根記念館にて写す

う魂胆があった。だから安重根は暗殺をした、と記述しましたが、記念館の日本語ビデオでの解説では、伊藤博文は朝鮮を侵略しようという魂胆があったんです。だから安重根は暗殺をしたことを確認できませんでした。
安重根が伊藤博文を暗殺しなかったら、朝鮮侵略はもっと早くに行われていたといわれています。だから安重根は英雄といわれているのです。また、現行の安重根記念館はそれほど規模の大きな施設ではありません。これから、数年計画でもっと大きく立派な記念館を数年計画で建設するそうです。機会があれば、新しく立派になった。記念館を見学に行きたいと思います。参加した会員が皆、充実した、研修だったことがとても良かったと感じました。始めての海外研修で韓国に着いたらとても嬉しそうにな

ここにきて喜んで旦那さんに今着いたよと国際電話をしていた会員の様子も良かったと思います。

Mさん逮捕について 井田有哉

《Mさん逮捕について》
Mさんの逮捕をめぐって 井田有哉

普段は11時位まで寝ている会員も、きちんと早起きをして、めりはりのついた活動ができたこととても良かったと感じております。

しまつと両親に迷惑をかけると思い、弁護士を選任もしませんでした。

「精神病者」当事者で運営されている共同作業所ですが、医療観察法、障害者自立支援法をはじめ、私たち「精神病者」をめぐる問題は深刻さをますますかかります。
つい先日、ほっとスペース八王子に通う会員Mさんが逮捕され、22日間もの間、留置されるといふ出来事がありました。Mさんは、9月18日に通院先の病院での診察を終え、友人と一緒に帰る途中、通行人を蹴ったという傷害容疑で逮捕されました。
当日の診療中でストリスを溜めこみ、診療後病院内で暴れたにもかかわらず、病院側に半ば強制的に帰路につかされたことの結果だったようです。
逮捕されたMさんは、このことを私たちに知られたら作業所に通えなくなると思い、すぐに連絡をすることができませんでした。また、お金がかかって

私たちがMさんの逮捕を知ったのは、一週間後の9月26日でした。26日は土曜日、27日は日曜日ということで、面会も差し入れもすることができず、留置されたMさんのことを心配しながら、悶々とした2日間を過ごしました。明けて28日に、ようやく立川署に行くことができました。しかし、Mさんは地検での取り調べということで、メッセージや本の差し入れをするくらいのことしかできませんでした。私たちは、立川署に訪れた足で、以前からお世話になっている弁護士事務所を訪問しました。26日の時点で、救援連絡センターに連絡をしておりましたが、逮捕から時間が経過していることや、たまたま総会の重なった土日ということもあり、接見に行っていたただ弁護士の方がなかなか見つからずにおりました。その日の相談で、早急に接見に行った方がよいということでしたので、弁護士の方に接

見を依頼しました。

29日になって、初めてMさんと面会することができました。「申し訳ない。申し訳ない。」という言葉を探るMさんとの面会は、一生私の脳裏から離れることはないと思います。その日から釈放されるまでの土日を除く毎日、Mさんとの面会・差し入れをする日々が続きました。弁護士につきましても、接見に行っていたいたいた弁護士の方が選任され、検事の話もできるようになりました。Mさんの容疑が傷害容疑ということだったので、医療観察法の適用、措置入院なども懸念され、また長期の留置による体調悪化など、様々なことが心配されました。長期間の留置になったのも、彼が「精神病者」であるからに他なりません。簡易鑑定の結果を待つという理由だけで、23日間もの間、留置所での生活を余議なくされました。

息子の身を案じて上京されたMさんのお父さんも心労が重なり、滞在先の階段から転落するということがありました。一緒に面会行動をしたほっととペース八王子の仲間も、彼の悲痛な叫びに心を痛めました。とてもつらく、長い時間でしたが、なんとかみんなで支えあいながら、10月9日にMさんを取り戻すことができました。心配された医療観察法の適用もなく、Mさんも落ち込んでおりましたが、大きく体調を崩すことはありませんでした。私はこの出来事の中で、あまり気付かずにいた問題を突き付けられたように思っております。病院での対応に

も大きな問題があります。暴れてしまうような状況であれば、少し休憩させるような対応もできたのではないかと思います。

それから、Mさんが逮捕されたことを、私たちがすぐに知ることができていたら、23日間もの留置には及ばなかったように思います。すぐに面会をして、警察に事情の説明もできたでしょうし、弁護士の選任も早期にできていたのではないかと思います。

私たちが逮捕のことをすぐに知ることができなかったのは、何を話しても大丈夫という信頼関係がなかったということです。これは私たちにとって、大きな問題だと思っています。

私たちほっととスペース八王子の今後のあり方、存在意義を改めて考えながら、医療観察法が私たちの身近に存在している問題、簡単な刑事訴訟法の知識の必要性など、ひとつひとつに取り組んでいきたいと思います。

Mさんの逮捕について

むらた桃

これは寝耳に水でした。突然、何かで警察に呼ばれてしまったと思うと…私もそっとします。Mさんは仲間にも恵まれ、毎日ほっととに楽しく通っていた方です。逮捕から22日位で釈放されて、最悪の事態を迎えなくて良かったのですが、逮捕されての生活はとてもおつらいものがあることでしょう。

特に『精神障害者』だから『取り調べを強化して、余計疑う事を疑うことはなかったでしょうか?』

これは本当にやめて欲しいです。ある精神保健福祉

の統計によると、精神障害者の犯罪は、そうでない者に比べて、むしろ少ないと言われております。本当にお願いいたします。



村仲 徹

「まえがき」

9月18日、ほっととスペース八王子の仲間が軽い傷害罪で逮捕されました。「医療観察法」が制定されて初めての同法適用罪名での逮捕者だったので、「ほっととスペース八王子」としても一生懸命に仲間の同法適用をさせないために会員一丸となって頑張りました。逮捕された村仲さんは自分自身の今後のためにも、更に全国の「精神病者」の仲間のために、も今回の逮捕について、留置施設での生活について赤裸々に正直に日誌として残すことを決意されました。

今号から連載で22日間の獄中での出来事を掲載していきます。

9月15日、「ほっととスペース八王子」で自分がみんなに「この作業所はウツの集まりだ」と自分の感情をもろに出していました。この頃は薬を飲んでいなくて、毎日がイライラしていたのです。精神的

にイライラしており辛かった。「障害者自立支援法」のために2011年3月には「ほっとスペースス八王子」が潰れてしまうという話があって、不安になり、いつかは自殺しなければならぬかと思っていました。

9月18日、自分は午前中、八王子の精神病院でイライラして看護師に暴力をふるってしまい、副院長から「お前はもう帰れ」と怒られました。そのままイライラした状態で立川の自分の部屋の近くに友達と一緒に歩いている時、小学生の女の子に傷害と暴力を負わせてしまいました。

その時にその場で小学生の女の子には謝りました。しかし、その現場を見ていた男の人が110番通報し、警察官が現場に急行しました。そして立川警察署に連行されました。

警察署では警察官にいろいろな尋問され、追及され、精神的、肉体的に非常に疲れてしまいました。これだけ疲れたのだからそろそろ自分の部屋に帰れると思いましたが、だけど、そうじゃなかった。

逮捕しますよと言われ弁護士をつけるか、と言われたけど、お金がかかるだろうと思って、自分は弁護士をつけませんと答えました。その後、両手の指紋を10個取られました。番号札を前にぶら下げられて顔写真を撮られました。

それで終わりかと思ったら、その後取調室に連れていかれ、取り調べが始まりました。

2人の警察官に事件のいきさつ、何があったのか

を聞かれた。自分としてはあまり覚えていなくていまいに答えた。取り調べた警察官は「けり方が違うだろ」「道路側の女の子と道路から遠い女の子とけり方が違っただろう」とかいろいろ言われて頭が混乱した。すったもんだして、その日の取り調べは午後10時までかかってしまった。

取り調べの時は腰に巻きついた縄がついた手錠は外されていた。取り調べ中3回もトイレに行った。その度にトイレの入り口で取り調べの2人の警察官は監視していた。その日の取り調べが済んで留置場に入りましたが、中は真っ暗でみんな静かに寝ていました。

夕食は取調室で食べました。メニューは鳥の空揚げとゆで卵でしたが、まずかった。

自分の部屋は独居房で布団部屋に連れて行かれ、そこで二枚の毛布と枕とシーツ、枕カバーを渡され、自分の房に入れました。自分で毛布やシーツを敷きました。「パジャマはないのか」と聞いたけど、警察官は「そんなものない」と言われ困りました。仕方なく、服を着たまま毛布の中に入って寝ました。

これだけきつい取り調べがあったのだから、もう出られるはずだと思っていたのに出られなくて残念だった。次の日は絶対に出られると思った。何故かと言つと、小さな女の子に対してなにも悪いこと

をしていないのに警察官から「女の子を傷つけることは何事か」「深く反省しろ」と言われたからです。もう反省したのだから明日は出られると思いましたが、今晚を過ぎて一日で釈放だと思いました。(以下次号へ続く)

《プログラム活動報告》

(I) 9/14多摩動物園日帰り旅行

安兵衛

多摩動物園は楽しかったね。夜行性の動物が多いので昼間は寝ているし、コアラは一日に摂取る食べ物の量が少ないので、エネルギー消費を抑えるために、シットしているんだと入りの説明書きに書いてありました。



動物と触れ合うのもいいもんだ

ダラツとしているのはそういうことなので、元気で活発な姿を見たいときは夜の動物園がお薦めですね。一年に何回か開園しているみたいです。

(Ⅱ) 10 / 2 心の健康フェスティバル

朝野よかいち

展示でほっとニュースと石鹸売りました。ほっとニュースが十部売れました。各病院のディケア、作業所の作品で欲しいものがあつたりしても販売しないところもあつて残念でした。次回に期待。ホールでの統合失調症のセミナー受けたかったです。



和やかに談笑しています。

とりあえず昨日、もし精神病者とか、いろいろ悩みを抱えていて、お寺では手に負えないような人がいたら、作業所(ほっとスペース八王子)に紹介してあげてくださいとパンフレットを10枚くらい渡して来ました。そしていちよう祭り(11/21、11/22)のメイド喫茶のチラシ、いっぱいもらっちゃいました。いやそんなつもりは、病院通った人で、まだ就労が無理な方とか、職が無く生活保護の申請がしたい人とか(職員が市へー

《プログラム参加レポート》

多摩動物園日帰り旅行・心の健康フェスティバル・萌え訪問・なくせ医療観察法全国集会・10・30全国フォーラムに参加して・etc

(Ⅲ) 萌え寺(了法寺) 訪問記

朝野よかいち

西八王子に漫画の絵の女の子の看板で最近注目を浴びている了法寺という萌え寺があります。

2009年11月20日の9時に萌え寺に行つて、いろいろお坊さんとお話しました。作業所が10時から始まるので、一時間くらいお寺に行つてお祈りやお話出来るので、これから通い始めようと思つています。

緒に頼みにいきます)の受け皿になるような、そういう地域に役立ちたい気持ちで精神病者の作業所(ほっとスペース八王子)ではあります。困つてるや苦しんでる人が居たら力になりたい。(まあ本音を言えば地域社会に役立ってる実績があれば、市や都に意見が強く言える。そう思つてるんです。)

だから社会の問題を少しでもなくし、市民、都民のプラスになることで頑張つて生きたいなと思うのです。都民、市民。過こしやすいく都や市であつてほしい。それはみんなの願いなんだと思つています。今回いちよう祭り、了法寺がメイド喫茶を開き、

TVの放映がなされました。反論がご住職に電話であつたみたいです。でもどんな人も永遠の輪廻の中、仏になると法華経では教えてます。

萌えはある意味、煩惱の炎なのかもしれません。でも了法寺には了法寺にしかできない事があると思つます。どんな人にも仏のこころを感じることをいろいろな方便で訴えていく。萌えの好きな人に仏さまのご縁を結びつける大切なことだと思つます。皆がお寺を愛し、仏の心を持つとするとするきっかけができる。そんな発心をほくは信じたいです。

(Ⅳ) 医療観察法集会と銀座マリオン前情宣活動に参加して

渡辺広海

11月22日に医療観察法についての集会が行われました。参加したのは私とツチノコさんと所長と山海さん。非常にためになる集会でした。医療観察法だ



人気爆発だそう。不思議な光景です。

けでなく、障害者自立支援法にも触れた内容の集会で、人数はそう多くなかったけれど、資料も判り易く、参加してよかったと思いました。ほっとニューアを持って行って売ればよかったと後で後悔しました。全国から70人位集まった集会でした。

(V) さよなら障害者自立支援法! つくろう! 私たちの新法を!

10・30全国大フォーラムに参加して

昨年10月30日、「さよなら障害者自立支援法! つくろう! 私たちの新法を!」10・30全国大フォーラムが全国の障害者、支援者、関係者約12,000名(主催者発表)が参加して開催された。ほっとスペースからも多くの会員が参加しました。

この集会では、来賓として長妻厚生労働大臣が発言、「障害者自立支援法」の廃止と「新しい制度」の創設を宣言して参加者から大きな拍手を受けました。

また反貧困ネットワーク事務局長の湯浅誠氏、障害者自立支援法訴訟の原告家原悟氏がそれぞれの立場からこれまでの福祉政策の問題点と、今後「人が生活できる国に、人が生きていける国にしていこう」、そして「障害がある人も、障害がない人も誰もが安心して暮らしていける社会の実現」が必要であるとの発言がありました。その後政権与党(民主党、社民党、国民新党)+共産党によるノンポジウムが行われた後、国会までデモ行進して解散となりま

した。

この集会に全国から12,000名を超える当事者・支援者が参加したのは大きな成果であったと思います。しかし今後の展開は決して平坦ではないと思われれます。政権のマニフェストでは、「障害者自立支援法を廃止して、新たに障害者総合福祉法を制定する」、また「国連障害者権利条約の批准に必要な国内法の整備を行うために、内閣に障がい者制度改革推進本部を設置する」と明記されましたが、当事者の意見を反映する為には障害当事者の参加が不可欠でありその意見が十分に法案作成に反映されるものでなければなりません。ほんとうに障害のある人たちの地域生活を充実させることができる社会を作ることができるのか、私たちは、当事者として、そして支援者としてしっかりと今後の動きを見ながら、多くの方々に障害のある人たちの暮らしの実態と問題点を訴えて改善を訴える運動を展開していく必要があると思います。2010年もともに運動を発展させるべくがんばりま



全国から12,000名仲間が参加しました。

しょう。(編集部)

追悼! ワダックさん

和田重徳さん、安らかに

堀部正

「ほっとスペース八王子」が八幡町に移ってから直ぐに入会。

マジックが好きな彼は、高校の国語の教諭でした。教鞭をとっている時に発病し、八王子の共同作業所では内職仕事で面白くないので、自分の好きなように時間と空間を使える「ほっとスペース八王子」を選んだそうです。

彼自身が言うように音に敏感なところがちょっと病的だった。そのために近所関係でトラブルが耐えなかったそうだ。しかし、彼が「ほっと」ニューア紙上で述べているように彼はエンターテインメントに憧れていて、マジックをして観衆が「おっすっ!!」などどよめいたり、目が点になっている様子をつかぐのが何物にも変えられない至上の喜びを感じるそうだ。そのために生活保護の生活扶助費のほとんどを費やすほどの熱の入れようだった。

「ほっとスペース八王子」をやめた後、自宅を失火で消失した際に、失火にも拘らず逮捕され、まだその当時は医療観察法が制定されていなかった。その際の都立松沢病院の対応がひどかったようだ。毎日毎日、「反省しろ」の一点張りでは生きた心

～ワダックさんは、ほっとの仲間の中で生き続けていく～

謹んで哀悼の意を表します

地がしなかったそう。憔悴(せうすい)きった姿を見て自宅を失い老人ホームに入居せざるを得なかった母親からの連絡で、僕たちは和田さんが自宅を失ったこと、そのため措置入院で都立松沢病院に強制入院させられていること、憔悴(せうすい)しきって生気を失っていることをうかがったのである。

直ぐに「ほっとスペース八王子」全員で面会行動を行い、年齢以上に年老いて憔悴(せうすい)しきった彼を見て、僕は直ぐに簡単なマジックを披露し、僕らをねぎらってくれた。生気を失っていた彼に生気が蘇(よみがえ)ってきたのだ。彼は別れ際、「絶対に退院するよ」「また、老人ホームに入居している母親の八王子に戻って、ほっとに戻るよ」と約束してくれていた。

都立松沢病院を退院して数年間は望年会、毎月の誕

生会で「ほっとスペース八王子」の行事にマジックを披露してくれていた。早く「ほっとスペース八王子」に戻りたいと言っていたが、自宅を失火で消失

部屋に訪問した。一日中照明なしでは真つ暗な寒い部屋だった。毎日毎日カップラーメンと「コシヒカリのお米だけを食べる暮らしだったようだ。これじゃあ、栄養のバランスが壊れて生活習慣病になっちゃうよって、アドバイスしたけど、「ケースワーカーからの毎月の借金返済で仕方がないんだ」とのこと。グループホーム職員に相談したらと聞いていたが、結局は孤独死してしまった。



写すに於いて望年会2008年。ワダックさんの日しり

グループホーム「くるみの家」の職員はいったい何をしていただろうか。惜しい人を亡くした。和田さんの分まで今残った僕らが生き抜いて、「精神病者」解放の長い道のりを歩んでいきます。見ていてください。和田さん。

ワダックさんの死について「ゴンスケ

皆様、このたび和田さんが死に至った経緯について、私からご説

明させて頂きます。ちょっと、和田さんと私についてお話させて下さい。和田さんとはごく親しい仲でした。毎年年末・年始になると紅白歌合戦、正月番組を楽しんでおりました。今年は4月10日に東

京ドームに巨人戦を見に行きました。和田さんもフロレスは東京ドームで見た事はあったそうですが、野球は初めて見たとサイン喜んでいたのが、昨日の様に思い出されます。

さて、本題ですが和田さんとは頻りに電話で会話をしてきたのですが、7月の末頃に1回お話ししたのが、最後に8月に入るところから電話をかけても、コール音はするのですが、「ご本人が電話に出ない状態が続いております。以前、ほっとスペース八王子のお遊び落書帳を通して、連絡が無いのが心配だなと書きました。シミーちゃんのように孤独死になっていなければイヤなあと書き込みをしていたのですが、残念な事となってしまいました。

私が和田さんの死去を知ったのは、9月25日でした。和田さんが入居していた狹窪のグループ・ホーム「くるみの家」と連携している地域活動支援センター「オプリガード」にまず電話連絡を入れたのですが、個人情報なので何も教えてもらえませんでしたが、今思えば、オプリガード側に何らかの非があったから、知らせてくれなかったのかなと勘繰ってしまいます。

同日の夜、ふと和田さんのお母様の暮らしているらっしゃる有料老人ホームの「ジョイ・ステージ八王子」を思い出しました。何とか、老人ホームの方に取り次ぎ和田さんのお母様から電話を頂戴致しました。そこで、驚きの事実を知りました。何と和田さんは8月20日に亡くなられて2週間も放置されていたのです。

電話で事実を知った私達は次の日、老人ホームを訪れました。そして、お母様からお話を聞く事ができました。和田さんは糖尿病で亡くなった事。私も糖尿病患者ですが、糖尿病自体では死には至りません。合併症で手足が壊疽を起したり、人工透析の末に亡くなるとは聞いた事がありますが、確かに糖尿病末期では体重の減少はあるものの、死には決して至りません。和田さんは検死に回されたそうです。死亡原因は糖尿病と書かれていたそうです。

私には大きな疑問が残ります。また、和田さんからは体調が悪く、夜眠れないらしくて、主治医からかなり強めの眠剤を処方されていたようです。夜中にトイシで目が覚めても、立って歩いて行けずホフク前進をして言うようにトイシに行っていたようです。また、それでも駄目な場合もあるようだったようで、最後にはシピンを使用していた様です。

主治医から患者が眠れないという訴えがあり、必要以上の量の眠剤を処方されていたと思うしかありません。主治医の処方もまずかったと素人判断ですが、思わずにはいられません。

和田さんは玄関で倒れていたそうです。きつと誰かに助けを求めたかったのでしょうか。力尽き誰にも気づかずに本当にかわいそうです。ご遺体は夏場ですから、腐乱していたそうです。和田さんのお母様のお孫さんが遺体と対面されたそうですが、腐敗が酷くてお母様にはお見せ出来ないかと判断されて、お母様はご遺体を見られていないそうです。グループ・ホームの「くるみの家」の職員方々は一体何を

していたのでしょうか？腐敗が進むまで連絡もとらず、放置じゃ何のためのグループ・ホームかわかりません。和田さんのお母様が和田さんに老齢年金の一部をお渡ししたそうなのですが、正直者の和田さんは福祉事務所にキチンと申告されて、返済のために2年、3年とまるでサラ金のような手口でお金が無くなり、カップ・ラーメンとお米だけの食生活を余儀なくされていたようです。当事者がその後どういった生活を送っているか福祉事務所も確認義務があると思うのは私だけでしょか？

私は思うのです・・・
・生活福祉課はお役所仕事だけで、一体何をしてくたのでしょうか？

・グループ・ホームは和田さんを放置したままで、一体何をしてくたのでしょうか？

・主治医は患者の容体も考えず、要求に従うままで薬を致死量まで処方して、一体何をしてくたのでしょうか？
・民生委員は訪問もせず、一体何をしてくたのでしょうか？

たのでしょうか？



マジシャンでした。ほっと望年会にて。

・福祉事務所はお金の返済だけを考えて、当事者の事を考えず確認義務を怠り、一体何をしてくれたのしょうか？

・自立支援法は全く役に立たず、一体何をしてくれたのしょうか？

・和田さんの孤独死を通して、決して他人事ではなく、医療機関も含めて福祉行政の問題が見え隠れしてきます。

皆さんも今回の残念な結果を踏まえて、積極的な態度で行政に物申す姿勢を貫きましょう。丁度その姿勢は、ほっとの活動が活発だった頃だと思えます。

私には、どうしても公の機関が寄ってたかって、和田さんを殺したとしか思えません。これじゃ、死んだ人が浮かばれない。孤独死・・・余りにも残酷過ぎる。誰にも看取られず。誰にもサヨナラと言えず。

せめて、今日は和田さんの墓前で皆、ホントに「ほっと」な気分です。今日の気候の様に温かく、サヨナラと言いましよう。そして、私達は和田さんの事、和田さんが披露して下さいましたマジックの事を決して忘れないで下さい。

また、本日は理由が分かりませんが、現代表が見えなくなっていいようですね。日曜日だから休みなのですか？和田さんは自腹を切つてまで、お声がかかれば、荻窪から電車に乗り、バスを乗り継ぎマジックを披露に来られていたのに、この場に来ないというのは「礼」に欠けますね。あえて、言わせて頂ければサラリーマン代表なんて、ほっとスペース

八王子には必要ありません。いつ何時、我々病者がどんな局面に立たされるかわからないからです。非常事態に常に備えていなければ代表の素養がないと思います。ほっと本来の姿を旧メンバーの方々は覚えていらっしやいますけども、最近のほっとはそれが薄れている感じが、私にはします。

Mr. フダックさん やすらかに

なぐら桃

フダックさんとは、2000年頃、ほっとの夕食会などで一緒にになり、時折マジックを披露させて頂いた事があります。また、年賀状も頂いたこともあり、その筆まめさには感激しました。あれから私はしばらくほっとを離れてしまいましたが、昨年、ほっとに戻ってきたとき、主人と知り合って、フダックさんがお元氣だということをつかかって嬉しかったです。あれから再開の日々を待っていました。とうとうやってこなかったで、大変残念です。

なお、お亡くなりになった原因として、グループホームでの孤独死ということですが、精神病者の孤独死はあってはならないことだと思います。そのため、行政機関・支援者・仲間たちの緊急支援は大切なことだなと思います。

互いが互いを癒すとは「自己表現のエンターテインメントを確立すること」

Mr. フダック(和田 重徳)

八王子保健所において「心の健康フェスティバル」

の催しの一環として私はマジックをやりました。

当日は大勢の人が見に来てくれ、後で聞いたら百人くらいの人がいちそうで大変ありがたく、やり甲斐がありました。私の横や後ろの方にまで人が詰めかけ、ネタがばれないかとひやひやしました。幸い大きなミスも無く何とかやり終えたのでとりあえず良かったのですが、時間がオーバーし司会の方に迷惑もかけました。人が多い方が見せ甲斐があり、燃えます。

私も魔術師の端くれとして、できればあの一世を風靡した「ミスターマリック」のようにカッコ良く決められたら良いなと思います。何故なら「ミスターマリック」は我が心の師だからです。

私は七年前に初めてミスターマリックをテレビで見、「私のやりたい世界はこれだ！」という雷にでも撃たれたような激しい衝撃を受け、以来その世界に完全に陶醉し、その虜となりました。人に何と言われようと私は「超魔術」をやるんだ、と固く決心しました。

只「超魔術」系のネタは見えて大変不思議に見える本当の奇跡のような世界ですが、欠点もあり、たとえば時間がかかり過ぎるとか、ちょっと考えないと咄嗟に分からないとか、派手さが無いとか、人のお手伝いが無いとできないとか、ステージでやるにはネタが小さ過ぎるとか、初心者にはすぐに来ないとか、おしゃべりが難しいとか、老人子供などにはあまり向かないなど、その他いろいろ問題もありません。が、巧くいった時の喜びは何とも言えませ

ん。まさに奇跡を起こした、そんな感じです。
その巧(うまい)くいった時の喜び、拍手や歓声、自己満足などがあるので「やめられないなあ」というのが本音です。

人がやっているような手品をただやってもしょがないです。

人がやらないようなことをやらないと意味がない。

アイデンティティというのはそういうところから生まれてくるのではないか。

ミスターマリックが何故あんなに受けたのか？
アイデン
ティティが

あったから
です。それ
を私もとり
あえず真似
したい。そ
こから新た

に何かをつかみたい。ただ真似するだけでなく、そこからさらに飛躍した自分独自のオリジナリティをつかみたい。自己のパーソナリティに合った個性豊かな新たな世界の模索と確立が重要になってきます。

二二世紀といのはまさにそういう時代ではないか。
個の確立と認知。自己認識と自己実現。自己受容と自己実現。

「癒(いよ)し」とは自己表現のエンターテインメントを確立するじつだ

Mr.フダック(和田重徳)

二二世紀という時代はいかに自分を理解し、その理解した自分をいかに表現して人を楽しませられるか、ということにかかっているのではないか。またそういう時代にならないといけないのではないか。

自分を再発見すること、それを認めること。そしてそれを生かすこと。いかに見つけて生かし表現するか、その一点に二二世紀の我々のアイデンティティはかかっているのではないか。

そしてそれを使っていかに人を楽しませることが出来るか。

二二世紀はそんなエンターテインメントの時代に

なるのではないか。互いが互いを楽しませる、互いが互いを癒す、互いが互いを喜ばせる、そんな時代が来ると思う。

これからの時代はお互いがお互いのエンターティナーであるという時代になると思う。

芸の一つでも出来なければ、無芸大食の時代は終わった、と言えると思う。

人との関わり合いの中で自分に合った個性的な自己表現のエンターテインメントを確立する。

そのための一つの方法論として私は超魔術を演じ続けると思う。それが今ある私のアイデンティティだと思っから。

「皆さん、これから私のする事を良く見ていてください。そして驚いてください。この世界では素直に驚ける方が一番幸せな人なのです」

《「ほっと」ニユース48号二〇〇〇年1月2日発行に寄せていただいた文章より転載しました(編集一部)》

病者の人権と生活を守ろう

植松 恵樹

最近の病者を取り巻く状況は極めて厳しいものがあります。

・万引きと間違われた元会員大根田氏の逮捕と3年近くにわたる強制入院

・グループホームに入居していたW氏(元会員)の死亡(発見まで2週間。施設でこんなことがあっていいのか)

・小学生にケガをさせたとした会員M氏の逮捕と200日以上の拘留

・元会員T氏の自殺

今私の知るケースはこれだけだが、八王子で、また全国各地でどれほどの病者が苦しんでいるか知れない。(もちろん病者だけではないが)。

私も含めてだが、職員、役員、会員すべてが考える必要がある。なぜほっとを作ったのか、何のためにあるのか、ということだろう。先にあげたケース

以外でもシミール氏のアルコール依存による自宅での死(やはり発見が遅れた)やSさんの自殺もあった。今後は日常的にほっとへ来ている会員はよいとしても、元会員などへもニュースなどを送るなどして、ネットワーク作りをする必要があるだろう。非会員のことは知らないなどとは言っていていられない。もちろん、会員でできることだとしても、私は自分の権限の範囲内で、職員の業務として、「病者の人権と生活を守る(誰であっても)」、「これを第一とする」とを決定したいと考える。「一般刑事事件(表面的には)は、本人が悪いなどとは言えない。それは別に議論すればいいことであって、当面面会や必要なことはすべてすべきだ。M氏の件は全体で粘り強く取り組んでいる事として評価している」と思う。

総合的に考えればほっとは、

- ・病者の日常的な居場所(癒される空間)
- ・社会運動への参加(社会的弱者との連帯)

の2つを兼ね備えた団体といえよう。特に運動参加には、一人ひとりの自主性や主体性を尊重することは言うまでもない。強制的に抑圧を受けていると感じさせての運動参加などない。誰にとっても「自由」が一番重要だ。その上での運動である。私は個人的には「全権力否定、絶対自由」をスローガンとしたい。但し他の人に強制するつも



りはない。

T氏以外にも、結婚を期に退会したり、こなくなる会員もいるが、ではなぜT氏は結婚10年でつれ合いを残して自殺したのか。2人でずっとほっとへ来ていれば、別の人生もあったのかもしいない。すべての人々とのつながり、会員化が互いに助け合うきつなになるのではないか。逮捕も自殺もきめ細かな日常活動で防ぐことができるのだ。もっと広く門戸が開かれたほっとにして、援助が必要な人に対しては、積極的にかかわってほしい。



自己紹介 コタキチ

皆さん、初めまして。

コタキチと申します。アラフォーで独身です。ほっとスペースに入会し



たのは今年の6月くらいだったと思います。趣味はDVDの映画鑑賞。エロ系じゃないですよ(笑)。最近ではワオネアドング(洋画)を見ました。かなりおすすめです。あとは音楽鑑賞です。ボサノバなんかを聞いたたりしています。

自己紹介 瑠架

皆さん、初めまして。

瑠架と申します。武田晴海さんの紹介でほっとスペースに入会しました。今はフェレットのアカちゃんを飼っています。少し世話が大変だけど頑張ってお世話をしています。初めは慣れていないのでちょっと不安になりましたが、今は慣れてとてもかわいいです。こんな私ですがよろしく願っています。



自己紹介 寅丸

皆さん、初めまして。

昨年11月からほぼ5年ぶりにほっとに戻ってきました。寅丸と申します。よろしく願っています。最近の趣味はラジオを聴くことです。TBSの「アケサス」(10:00~12:00pm)とNHKの「深夜便」(11:00pm~翌朝6:50am)などを聴いています。



2010年私の提言

2009年を振り返って

「本当の意味での世代交代が必要だ」

植松恵樹

明けましておめでとございます。

さて、昨年はほっとの内外でさまざまなことがあった年でした。会員、元会員の逮捕・強制入院・自殺・自殺未遂など。日常通所している会員でもみなそれぞれにたいへんな思いをしたりしています。行政の安易な「指導」などでは解決しない重要なことに職員・役員は責任をもってかわっているの

です。個々の通所メンバーや元会員からの相談などに対応して、答えようとすれば、現在の人員や補助金などではとてもやっていけません。私たちは、安易な「公務員批判」には組みませんが、自分らの立場に無自覚で差別的な取扱いとしか思えないような「規定」をたてに機械的な「指導」をすることに、断固反対し受け入れるわけにはいきません。また、内部的な問題ですが、「人はほめて育てろ」といいます。社会運動の経験もなくて(今の30代・50代は労働者を含めてみなそうです)入会し、病気を抱え、それでも積極的に役員になっている人たちに對して、それ以上何を望んでいるのか理解に苦しみます。あの職員はダメだった、代表、副代表はダメです。何を基準にしているのか。

人間関係も信頼関係も作れず、不満や批判だけ書いても若い人は育たないと思います。追いつめて、症状を悪化させないことです。40年前の「運動」の

イメージやスタイルを今の人に求めるのは、戦争世代がそれにこだわるのと同じで、たんなる頑固な保守でしかありません。若い人を信頼してまかせる以外に道はありません。

吉本隆明氏は民主党の政権交代についてこう述べている。

奢りと蔑み(おごりとさげすみ)、

植民地支配と差別を美化する、

「坂の上の雲」放映を批判する

●蔑みと、いじめ、差別と圧政が「障害者」と民衆を試練にかける!

「ほっとスペースス八王子」の仲間が、「挙動が怪しい」という「理由」で、あるいは、ささいな「事件」で警察に逮捕され、「精神病者だから」という理由で、留置所や精神科病棟に閉じ込められてきました。

絶望以外のすべてを奪われたなかまは、死を選び、またある人は、施設の自室で孤独のまま死に至り、そのまま何週間も放置された。「民主主義」の看板を掲げるこの社会で、何という理不尽でしょう!

世界と日本の経済が行き詰まり、社会の仕組みがどんどん崩れ、仕事と住み家を奪われた労働者が路頭に迷い、希望を奪われた人々が線路に飛び込んで、毎日のように列車が止まり、食物を奪われた人々が

「知識人は大衆を指導するような事を言いたがりません。けれども彼らの望むようには大衆は決して動かない」(現代思想2009年10月号)。結論としてほっとが「障害者解放運動団体」であることに對して、私は何の不安も心配もしていません。今までもそうであったし、これからもそうです。

賛助会会員 小久保 浩

つぎつぎ餓死していく。なんとという圧政・暴虐でしょう!

「ほっとスペースス八王子」に集う、「精神障害者」のみなさん、その自主の運動を共に闘う「賛助会」のみなさんの一人一人も、のっぴきならない危機にさらされています。見たくない、聞きたくもない、「できるなら、逃げ出してしまいたい」ような現実。私たちは、逃げ惑う。

仲間を見捨てちゃ行けないという熱いころも、だんだんと凍りついていく。逃げて、逃げて、差別と圧政は追いかけてくる。

せめて、仲間を見捨てず、仲間とともに、どこまでも行きましょう。

弾圧の記憶

甲午農民戦争

上

一八九四明治二十七年、朝鮮半島で大規模な民衆蜂起が起きた。朝鮮支配をめぐる日清戦争開戦の口実にもされた甲午農民戦争(東学党の乱)。日本は邦人保護などを名目に出兵したが、愛護軍人をほじめ主に四国出身者で構成された部隊が中心となって少なくとも約三万人の朝鮮民衆を虐殺していたことが、北海道大の井上勝生教授(明治維新史)らの最近の調査で明らかになった。明治からの日本近代史の暗部に愛護が深く関与していたことを示す事実として注目される。(編集委員 高山直大)

一九九五年七月、北海道を進めた韓国統監府。翌六年五月、北大は道大の文化人類学資料室の農業者と分かった。韓国側に調査結果を伝で、放逐された段ボール。その恩師で、国際人道主 又、遺骨を「奉還」した。箱から古い頭骨が見つかる。養者として知られる新渡 甲午農民戦争の中心地。骨には遺書で「韓 国東学党首魁」。甲午農民戦争最後の激戦地・珍 島で日本軍に処刑され、さうし首になった農民軍 指導者のものだった。 井上さんら北大調査委員会の調べで、頭骨を珍

県人も大量虐殺関与

向き合うべき冷徹な事実

討滅部隊

島で「探獲」したのは北 戸部道二八六二一九末に放置してきたこと。調査は続いた。弾圧の道だった靖国神社の「忠 戒した日本は、農民軍を ると犠牲者は約五万人に 行列はなかった。 合わせた。



南予にあった後備19大隊兵士の墓の前で、古谷さんは戦争の皮肉を思った

甲午農民戦争

平等思想に基づく民衆 宗教「東学」とともに、 894(甲午)年、朝鮮 各地に自治制を敷き、李 王朝の封建制打破を目 指した第1次蜂起、日本 の植民地化政策に抵抗 する第2次蜂起へ拡大 した。 日本は正しく、その後には、 約を結び朝鮮半島植民地 化を進めていたが、宣戦 布告はしてなかった。 井上さんは言う。「国 も探していた、東学農民 隊に連累の大量虐殺と高 軍との戦術で凄惨な後 約を結び朝鮮半島植民地 化を進めていたが、宣戦 布告はしてなかった。 井上さんは言う。「国 も探していた、東学農民 隊に連累の大量虐殺と高 軍との戦術で凄惨な後

全州市で開かれた奉還 学部長(当時)は、北大 ことが多すぎた。 「遺骨持ち出しは人 が植民地を通じて朝鮮半 弾圧を行使したのは、 「陸軍後備歩兵第十九大 間の蜂起に対する置置 島支配に果たした役割を (ほうご)であり、粗 認め、謝罪した。 隊」と判明した。国家神 道だった靖国神社の「忠 魂史」(戦)死者名簿 三方向から朝鮮半島西南 端に追い結める作戦をと 当時、日本は不平等条 約を結び朝鮮半島植民地 化を進めていたが、宣戦 布告はしてなかった。 井上さんは言う。「国 も探していた、東学農民 隊に連累の大量虐殺と高 軍との戦術で凄惨な後 約を結び朝鮮半島植民地 化を進めていたが、宣戦 布告はしてなかった。 井上さんは言う。「国 も探していた、東学農民 隊に連累の大量虐殺と高 軍との戦術で凄惨な後

熱い心が燃えているうちに、勇気をだして、行動を起こし、すべての仲間を取り戻しましょう！

●明治に栄光があったか、「水浸(みづ)く屍(かばね)、草生(む)す屍(かばね)に問え！」

11月29日、ついに、「坂の上の雲」放映が始まりました。世界最大の放送局が始まって以来の大事業として取り組む、韓国併合100年の2010年を挟み、3年わたる特別番組です。

「正岡子規が民権の演説をしているとき、秋山好古(1883年陸軍大学入学、陸軍騎兵中尉に昇進)から、弟の秋山真之に上京を促す手紙が届く」というシーンがありました。

その後まもなく、真之は上京して共立に入学。1883年(明治16)のことです。

ドラマでは、元下級士族の貧乏は描かれていますが、重税に喘ぎ、決起する農民・民衆はまったく描くこ

とはありません。

ちょう

1884

と



農民の顔や茶碗が彫り付けられたレリーフの碑

鐘(明治十九年九月十日、珍島に於いて)
右は明治十七年韓国東洋蜂起のあり、全羅南道珍島は彼が最も猖獗(はびこ)を極めたる所なりしが、これが平定に帰するに際し、その首唱者数百名を殺し、死屍道に横たはるに至り、首魁(首魁)者(これを棄)つて(画)にせざるが、右はその一なりしが、該島視察に際し採取せるものなり。

佐藤政次郎

85年の秩父困民党の蜂起を頂点とした、困民党の決起は、1883年(明治16)から85年までの3年間に、宮城県から鹿児島県まで1府15県で数十件発生しました。西南戦争など士族の反乱を制圧し、

これらの、民衆の闘いを圧殺した(秋山兄弟を呑む)明治政権は、アジアの裏切り者として、侵略者イギリス・アメリカなどの手先・番犬として朝鮮に侵入し、民衆を殺し、その屍の上に、血まみれの栄光を築きました。坂の上には、なにかあったか。

雲ではなく、屍の山と血の海であったと、髑髏(どくろ)は叫ぶ。その声を聞けるのは、私たちの良心であり、熱い心ではなんでしょうか。

NHKは司馬のドラマで、甘い言葉で、排外主義的優越意識を煽(あお)り、その栄光を美化し、民衆の良心を挫(くじ)き、わずかに残る熱き心を凍りつかせようとしている！

●もうひとつの珍島物語とは

ここに、2004年9月11日付けの愛媛新聞の画像を示します。記事が、愛媛と珍島の血塗られた関係を伝えています。先の韓国研修で、皆さんは珍島

に行ったでしょうか。

「海が割れるのよ」と天童よしみが歌う、あの珍島物語の地です。

「愛媛県人をはじめ、おもに四国出身者で構

成された部隊が中心となって、少なくとも3万人の朝鮮民衆を虐殺していたことが、北海道大の井上勝生教授(明治維新史)の最近の調査で明らかになった。...

1995年7月に、北大の文化人類学資料室内の段ボールの中から、「韓国東洋党首魁」と書かれた古い頭蓋骨が見つかった。...この頭蓋骨は、韓国統監府の農業技師(北大の前身・札幌農学校卒)が、東洋農民軍最後の激戦地の珍島から持ち帰ったもので、その恩師の新渡戸稲造の関与も浮上した。...

幕末・明治期に全国的に有名だった、南予を中心にした農民一揆になった民衆が、なぜ、友であるべき朝鮮民衆殺戮にのめり込んだのでしょうか、謎が渦を巻きます。

闘いに負け、熱い心が凍りついたとき、他民族の民衆を殺して、自分だけは生き延びようとする、植民地支配と侵略戦争の時代がはじまった。

幕末南予農民一揆、...、1868年明治維新...72年「解放令反対」一揆...84年頃、農民蜂起・民権運動の壊滅...94年甲午農民戦争(東洋党を軸とする抗日民衆蜂起)...と続く激動の坩堝(るつぼ)のなかで、日本と東アジアの歴史が選択され、創造されていった。

当時の愛媛の新聞には、「愛媛県内の、妻をなくして、父と子で暮らしていた、ある小作農民は、まだ幼い子を見捨てて行くことに堪えられず、その子を殺して出兵に應じました。また、父・夫を日本國家に奪われた貧農家族の貧困極まりない生活」等々

と描かれています。

「えひめ教科書裁判を支える会」は、「坂の上の雲」放映を批判して140ページに及び「NHKへの公開質問書」を提出し、NHKを糺しました。そして、弾劾の声は日増しに大きく広がり、全国的ネットワークも形成されています(<http://kakaueweb.fc2.com/>)。

●ともに生きる熱と光を取り戻そう!

一日も早く、大根田さんを助け出しましょう! 差別者と闘い、差別の構造(非情な社会の仕組み)を破壊するたびに、誇りと自信を奪い返していけると私は思う。

自分たちの力を頼みにして、圧迫と差別に立ち向かい、差別を糾弾して奪われたものを奪い返しましょう。ほっとスペース八王子は熱と光が必要です!

そして、熱いところを守り、これを育て、いつの日にか、光を求めて反撃にたちあがりましょう!

ななは、もろもろの、古き軛(くびき)よ! 社会の留め金をはずそう!

現状と課題

二〇〇九年は実にいろんなことが起きた年でした。

「ほっとスペース八王子」が助成金で運営される形で開設されて14年。

「障害者自立支援法」制定の動きに活動のあり方が独善に走り、「ほっとスペース八王子」の一人一人に目配りがおろそかになってしまい、代表から降ろされて再発に追い込まれ、解雇されそうになるまで至ったとんでもない年でした。

しかし、「精神病者」の現実は何ら改善されていなくて、逮捕者、孤独死、自死、長期強制入院などあとをたちません。

「ほっとスペース八王子」の非政治化を企もうとしても現実がそれを許さない一年でもありました。行政からの助成金で運営することで腐敗する危うさは常について回っていました。「ほっとスペース八王子」を立ち上げる際にも「お上からお金をもらって運営すると腐敗してしまつて、患者会の精神が破壊する」という議論で設立時に初代代表は辞めてしまいました。スポーツで全国を馳せた時期も行政からの助成金が当たり前で、解放運動など見向きもしない仲間が増えた時期もありました。

解放運動の継続が重要

「費用対効果」などの論理で元会員の長期強制入院に対する救援活動をすべきでないとい会員を組織して押しとどめるなど「精神病者」の解放運動に使わずに、助成金のほとんどを職員の賃金を増やすことしか考えていない職員が存在は労働組合運動の立場からも微妙な問題でもありました。

職場の安定化のために行政の言うことには「お上

意識」丸出して従順に従い、会員にも「お上には従順になれ」と従わせようとなりました。賛助会の存在も得て勝手に解釈し、「精神病者」解放運動のもう一方の担い手である賛助会を単なる寄付団体に貶めようと考えました。

しかし、「精神病者」をめぐる現実はその一部職員による「ほっとスペース八王子」の非政治化へのたくらみなど吹き飛ばしてしまいました。杉並区のグループホームに入居していた和重徳さんの孤独死、今号でも獄中日誌で登場している村仲徹さんの軽い傷害事件での逮捕・長期勾留、仲間たちから次々と連絡があつて明らかにされてきた長期強制入院の数々。自死の報告。

実際に自由を奪われ苦しんでいる仲間を目の当たりにすると会員の誰でも、「他人事ではない」と実感できるのでは。

自分だけ何とかなれば良い、自分だけ助ければ良いという考えは支え合つて生きていくしか生きていく方法がない僕たち「精神病者」にとつて相容れない考えです。「精神病者」をめぐる具体的な事件の数々がたまたま「ほっとスペース八王子」とつながりのある仲間に起きたので現実が見えてきたのです。精神病院・精神科クリニック、授産施設と自分の部屋だけの往復だけの生活であれば、このような現実には、目に留まることもなく闇から闇に葬り去られたことでしょう。

逮捕されたら「ほっとスペース八王子」に連絡する、長期入院されていることを連絡する、知り合い

が自死したことを連絡するのが当たり前という意識を持った仲間の連絡が偶然あったから、そしてそれを受け留める「ほっとスペース八王子」があったから白日の下に明らかになっただけです。

以前、このニュース紙上で部落解放運動の腐敗について述べている仲間がいました。しかし、その腐敗の原因は行政から補助金などの援助を受けるから起きたものではありません。ましてや差別糾弾闘争が激しく、果敢に取り組まれたことが原因で腐敗したわけでもありません。

解放運動を真剣に取り組まず、差別糾弾闘争を真剣に取り組まなかったからなのです。大不況が吹き荒れる現在、あちこちで差別落書きやネット右翼による気分が悪くなるようなブログ、掲示板への書き込みを見るにつけ、解放運動、差別糾弾闘争を真剣に取り組むことで腐敗からまのがれるものだと思います。

全共闘世代のおごりへの反省

さらに、僕自身も含めて解放運動の先輩たちが解放運動の理念や解放理論を若い世代に伝えていく努力を怠ったことも原因のひとつです。活動の忙しさにかまけて小泉はじめ急激な「精神病者」への攻撃が強まる中で若い世代を引き回すなどしたことも反省を受け、非政治化の口実にされてしまったことも反省する必要があります。行政からの援助が既得権として形骸化したのも問題だったと思います。

賛助会、支援者の皆様と共に

「ほっとスペース八王子」で見受けられた危機は行政からの援助が当たり前で、賛助会のお金は会員が好き勝手に使えるものだと思われるし、解放運動としての理念や考え方をないがしろにしたことから起きたものです。この危険性は「ほっとスペース八王子」にも絶えずついて回っています。「ほっとスペース八王子」が解放運動をやめ、解放運動への積極的な取り組みをやめた途端に腐敗は始まる運命にあることを肝に銘じる必要があると思います。

今後の予定

- 1月4日 新年会(「ほっとスペース八王子」)
新日本プロレス(東京ドーム)
1月6日 高尾山初登山
1月7日 誕生会(「ほっとスペース八王子」)
1月19日 長沼団地清掃

「ほっとスペース八王子」の再建過程で賛助会の皆様のご支援ご指導をいただき、旧指導体制も反省し、若い世代に「ほっとスペース八王子」の理念を生かす、発展させるべく交代することがまだ端緒ですが、始まっています。「ほっとスペース八王子」本体と賛助会が車の両輪となって、「ほっとスペース八王子」の「精神病者」解放運動の

発展のために頑張っていくことを新しい年に向けて決意したいと思えます。(文責:堀部)

《編集後記》

明けましておめでとございませう。今年も昨年同様「ほっとスペース」へのかわらぬサポート、よろしくお願ひよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年はほっとにおいては、会員の逮捕、元会員のかたの自殺未遂などさまざまなことが起きましたが、他方では運営に携わる若い「運営委員」さんたちの努力で会員数もジワッと(ですが)増えてきた年でもありました。

また昨年は政権交代により、いよいよ「さよなら自立支援法」が実現しうる入り口が見えてきた年でもありました。しかしこれからが本番です。自立支援法後の新たな法律は当事者がきちっと政策立案過程の議論の中に入る事により可能となるからです。

そしてそれは「障害者権利条約」の基本精神を踏まえたものでなければなりません。昨年12月に、このような視点から「権利条約の原点とわが国の課題」と題したセミナーが、「日本障害フォーラム」の主催により開催されました。全国から約350名ほどの方が集まりましたが、そのような問題意識での活発な議論がなされておりました。

障害者自立支援法に変わる新たな福祉法がどのようなものになるか、これからが重要です。私たちも微力ではありますが、障害者が当たり前に暮らせる社会を実現すべく皆様とともに歩んで行きたいと思っておりますのでご指導・支援のほど、よろしくお願ひいたします。(編集部)